

N P O 法人医桜
2 0 1 3 年 活 動 報 告 書



—お問い合わせ先—
特定非営利活動法人医桜
〒114-0001 東京都北区東十条4-6-4
サンマリビルB101

□お問い合わせページ
<http://www.izakura.jp>

医桜の活動理念とミッション

◇企業理念◇

あれを見よ
深山の桜
咲きにけり
真心尽くせ
人知らずとも

山深い奥に咲く、桜の花は誰が見てなくとも、一生懸命に咲いている。
転じて、我々は誰が見てなくても、一生懸命に仕事をする。いずれ、その事に気付いた人が、一緒に歩いてくれる。それが道になる。
山奥の桜の花の下まで、道ができ、人が集まるように仕事をする。
それが、我々の基本理念になります。

◇ Mission(我々の使命) ◇

日本の医療の質の向上

- 1) 総ての医療資格者へ医学情報提供する場を作ること
- 2) 総ての医療資格者へ学びの機会を提供すること
- 3) 総ての医療資格者のQOLを向上させること

会計収支報告2013

科	目金	額
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		1,200,000
入会金収入	0	
会費収入	1,200,000	
2 事業収入		3,287,370
(1)保健・医療・福祉関係のセミナー事業	2,974,225	
(2)保健・医療・福祉の情報サイトの運営事業	3,600,000	
(3)保健・医療・福祉機関への経営支援事業	313,145	
3 補助金等収入		0
地方公共団体補助金収入	0	
4 寄付金収入		3,815
寄付金(募金箱)	3,815	
5 その他収入		27
利息収入	27	
6 その他の事業会計からの繰入	0	0
経常収入合計		8,091,212
II 経常支出の部		
1 事業費		7,999,144
(1)保健・医療・福祉関係のセミナー事業	2,652,789	
(2)保健・医療・福祉の情報サイトの運営事業	4,873,355	
(3)保健・医療・福祉機関への経営支援事業	473,000	
2 管理費		12,900
役員報酬	0	
給料手当	0	
什器備品費	0	
光熱水費	0	
消耗品費	0	
通信運搬費	9,600	
印刷製本費	0	
租税公課	0	
銀行手数料	3,300	
経常支出合計		8,012,044
経常収支差額		79,168
当期収支差額		79,168
前期繰越収支差額		22,227
次期繰越収支差額		101,395

【総括】

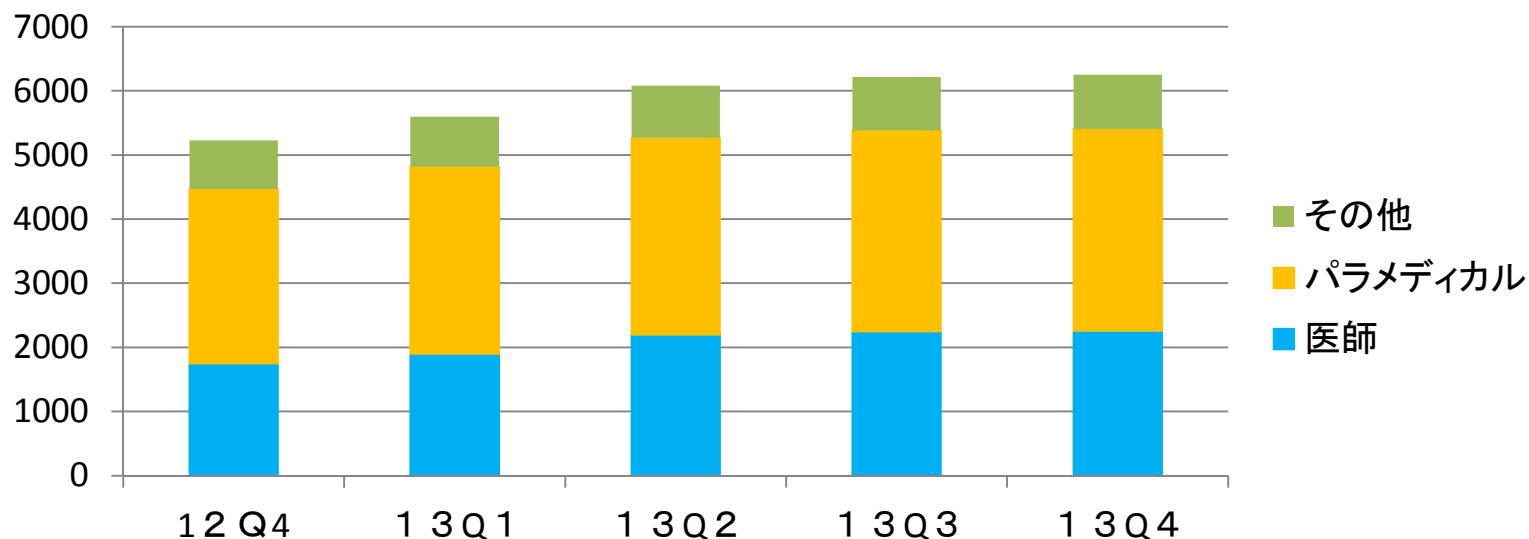
儲からない仕事を選んでしているのか、と社員総会で指摘もありましたが、確かに事業存続させていく上で、ちゃんと人件費が払える程度の収益は必要だと思います。

医療に貢献する、という軸で活動をしてきましたが、2014年はさらに事業として発展していく事を加えて活動をしていきたいと考えます。

また医桜のサイト運営以外にも事業をスタートを2014年はしますので、今年は違った形での収益が期待できます。

今年は基本的には収益はすべて投資に、という感じでしたので、次年度は投資を回収するようにしていきます。

会員数の推移 2013年1月～2013年12月まで



2013年 会員獲得の目標
目標10,000名 (達成率60%)

会員数 6,145名

【内訳】

医師 2,250名

パラメ 2,984名

医学生 66名

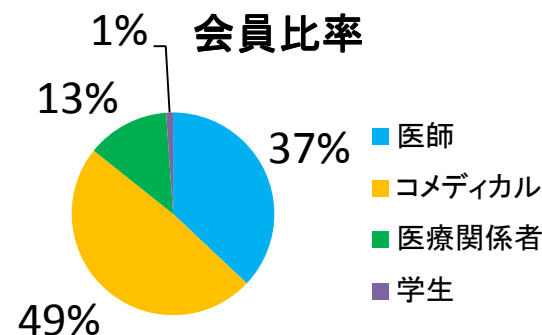
その他 845名

【総論】

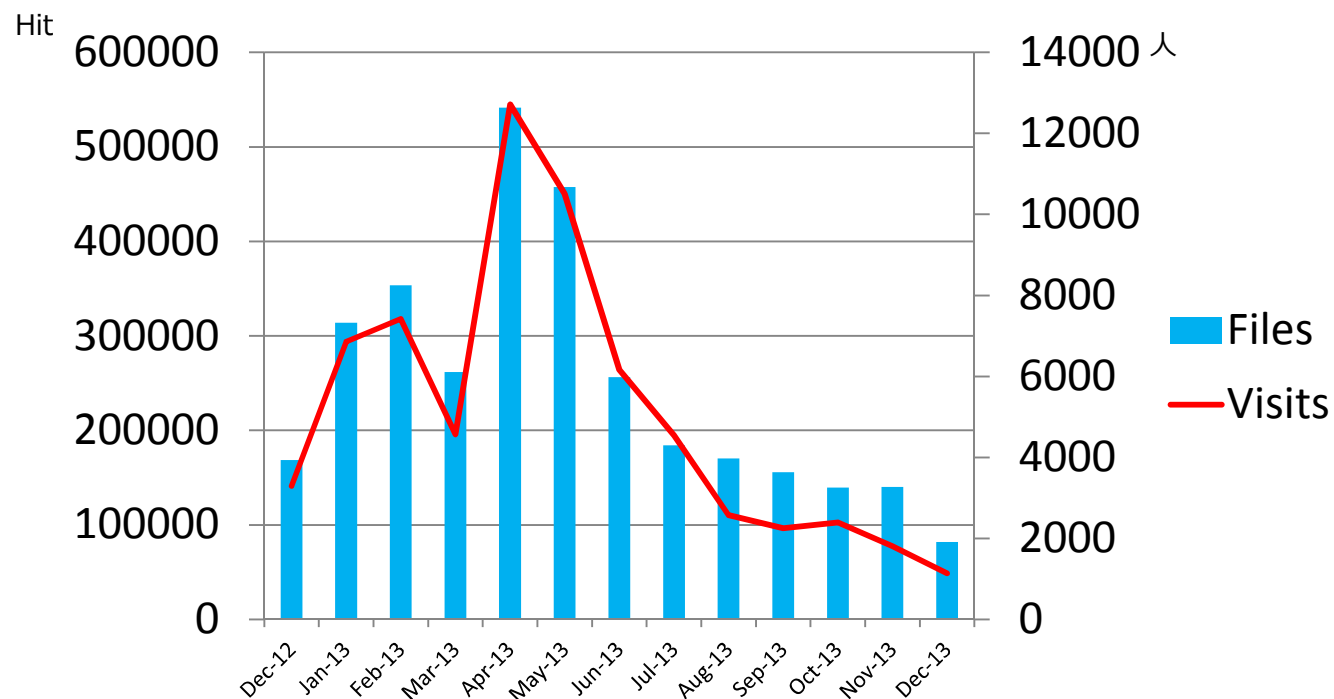
6月以降、スタッフの退職が相次ぎ、事業維持が優先されてしまいまして、広報活動が出来なかった事もありまして、昨年下半期はほとんど会員が伸びておりません。

前半は学会・研究活動に力を入れた事もありまして、一定数の登録の伸びがありましたが、期待値ほどではなく、医療資格者へPRするには魅力不足であると感じます。

会員獲得のための施策を考えるのが、2014年の課題であると痛感しております。



医桜の利用率 2012年12月～2013年12月



Files : 非会員を含む、サイトへの月間H I T件数

Vists : 非会員を含む、1か月間の訪問者数

(I Pアドレスでカウント、1カ月単位で重複はノーカウント)

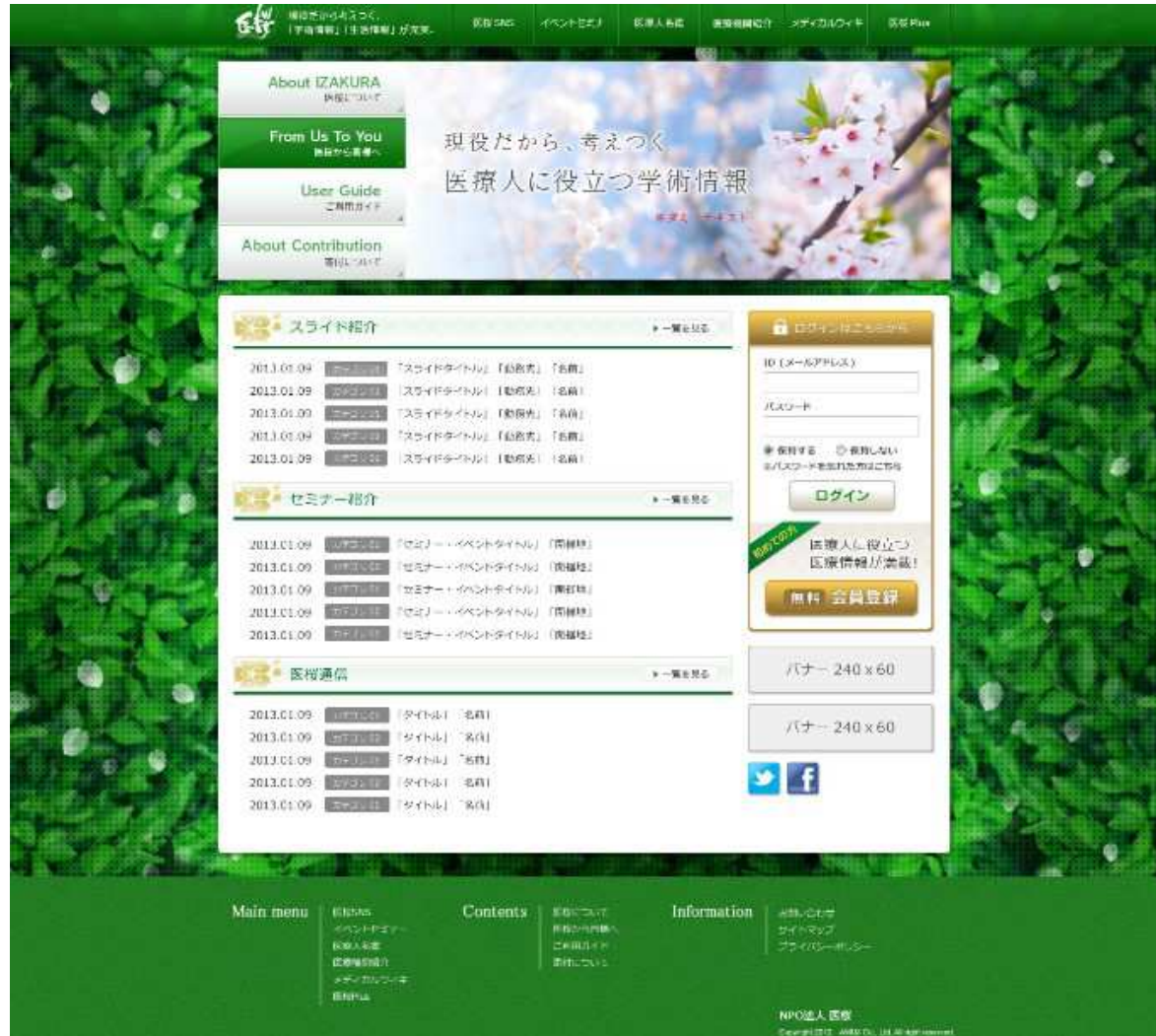
心臓救急最前線のスライド投稿をした4～5月は好調でしたが、ひと段落してから低迷をしております。人手不足もありまして、更新が滞った事も原因の一つと考えております。

コンテンツの更新のほか、スライド投稿についても対策を考える必要があります。

今年は英語論文の和訳要約や、特定診療科に関するスライド投稿をする予定で考えておりまして、アクセスの増加を図っていきたく思います。

活動報告2013 サイトリニューアルについて

リニューアルサイト(仮)



旧サイトからデザインも一新しまして、緑を基調としたページになります。

基本的なコンテンツに変更はありませんが、ソーシャルメディアとの連動を意識した構成になっております。

従来より、より自由度が向上しており、ユーザビリティの向上もしております。

【コンテンツ】
学術スライド紹介
セミナー・イベント案内
医桜通信
医桜SNS

活動報告2013 心臓救済前線2013-2014発刊

心臓救急最前線2013-2014 概要 EMERGENCY CARDIOVASCULAR CARE

『心臓救急の奥深さ・重要性』を
1人でも多くの医療従事者の皆様に
知って頂きたいです！

【監修】

澤芳樹
(大阪大学 心臓血管外科 教授)

木村剛
(京都大学 循環器内科 教授, 日本循環器学会 循環器救急医療委員会 委員長)

小室一成
(東京大学 循環器内科学 教授, 大阪大学 循環器内科学 教授)

【編集委員】

長尾建
(駿河台日本大学病院 教授, 日本循環器学会 蘇生科学小委員会 委員長)

南都伸介
(大阪大学 先進心血管治療学講座 教授)

野々木宏
(静岡総合病院 院長代理, 日本循環器学会 循環器救急医療委員会 副委員長, 蘇生教育小委員会 委員長)

西山慶
(京都大学 初期診療・救急医学分野 講師)

伊藤賀敏
(大阪府済生会千里病院 心臓血管センター長, 大阪大学 循環器内科学 特任研究員)

目次は裏面をご覧ください

全ての記事は、医療従事者が集うサイト：[医桜 izakura.jp](http://izakura.jp) で無料閲覧可能です！

心臓救急最前線としまして、最新の心臓救急医療についての研究、実践データを纏めました冊子の制作支援と、事務局を担当させて頂きました。

また内容については、全編、医桜上にて公開しております。

心停止した患者さんを社会復帰させるためには、というテーマであり、救急医はもちろん、開業医の皆さんにとっても面白い内容となっております、1万6千部を配布させて頂きました。

また寄稿頂いた先生がたの多くが、学会発表で受賞するなど、内容的にも非常に洗練されており、評価を頂きました。

活動報告2013 闘魂外来・闘魂祭in茨城西南医療センター病院



闘魂外来とは……

患者のご協力を得た上で、指導医の見守る中、医学生が「問診⇒身体診察⇒鑑別診断⇒アセスメント⇒プラン⇒患者への説明」と一連の流れを全て行う、実践型臨床実習の事です。今回、講師を頂きました、水戸協同病院の徳田安春先生が実施しており、一部の学生の間では伝説と化していました。

<http://www.youtube.com/watch?v=6hSve1eKzKg>

今回、医桜では伝説と化した闘魂外来を復活させるべく、徳田先生にお願いをしまして、人口10万人当たりの医師数が埼玉に次いで悪い茨城県の中でも、一番医療過疎の地域である、「茨城西南医療センター病院」にて開催しました。

目的は2つです。

- 1) 医学生に机上以外の勉強の機会と、医療についての興味をさらに深めてもらう事。
- 2) 研修が集まらなくても、レベルの高い医療、指導を提供している病院があるので、そこに人材が集まるきっかけを作る事。

新聞掲載を頂きました。

活動報告2013 闘魂外来・闘魂祭を開催



昨年は全部で5回、闘魂外来・闘魂祭を開催しました。

健和会大手町病院(福岡)
茨城西南医療センター病院(茨城、2回開催)
とちぎメディカルセンター 下都賀総合病院(栃木)
糸魚川総合病院(新潟)

参加した医学生、研修医 のべ101名。

2014年からは研修医獲得にもつながるようにしていく事がミッションの一つになるかと思います。また定員枠いっぱいの応募があり、病院の大きさの都合で断ってしまった学生も少なくなく、その救済も課題になります。

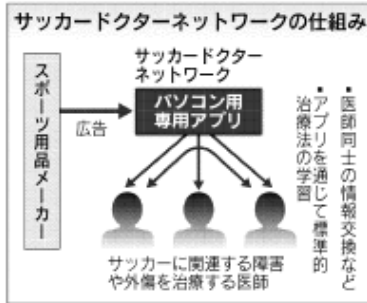
地方でも、質の高い教育環境と医療提供は十分できていますし、あとは知名度だけです。そういった意味では、直接病院に行って、そのスタッフと一緒に診察をする「闘魂外来」は新しい地方での医師獲得方法として有効だと思います。

午後は闘魂祭と称しまして、上級医も交えての午前中の診察の振り返りを行います。こちらは大変評判がよく、2014年は発表内容の書籍化も視野に取り組もう、という動きになっております。

活動報告2013 サッカードクターネットワーク キックオフを開催

サッカー関連のケガ

NPO法人の医桜（東京・北）は今年より、サッカーに関連したケガなどを診察する医師向けに治療学習用のパソコンアプリの無償提供を始める。サッカーに関係する医師は全国に約300人いるが、研修は都道府県ごとに行われており、治療やリハビリテーション技術の標準化や向上を支援する。スポーツ用品メーカーなどから広告料を徴収し、運用資金に充てる。



治療学習用アプリ提供

都内NPOの医桜 医師の技術支援

日本サッカー協会は、全国に約300人のサッカードクターを登録し、プロやアマチュアの公式戦に医師を派遣している。

だが、治療やリハビリテーションの方法の指導については、「各都道府県の協会任せとなっており、平準化が求められていた」（医桜）。

医桜はサッカーに関連するケガなどの予防や治療法の学習や情報交換のためのパソコンアプリを無償で配布し、アプリを取り込んだ情報をもとに医師のネットワーク化を目指す。治療法などの情報はサッカーの指導者にも提供する。

アプリの運用資金は、スポーツ用品メーカーなどからの広告収入などで賄う計画だ。

医桜は将来的にはネットワーク化した医師から、プロサッカー選手に對し、有償で紹介することを目指す。医桜によると、Jリーグの各チームにはチームドクターがいるものの、十二分なフォローはできていないという。サッカーを専門に診療している医師を紹介することで、選手をバックアップする。

サッカー選手向けの活動を軌道にのせた上で野球やテニス、陸上競技などについても同様の医師ネットワーク化を視野に入れる。医桜は2011年9月に設立。医師向けのセミナーや学会などの企画運営などを行っている。

育成世代（小～高校生）を対象とした、サッカー選手の傷病予防ができないか、という事をコンセプトにスタートしたプロジェクトになります。

2012年の秋口からスタートしまして、2013年9月に正式にキックオフイベントを実施しました。

医桜のコンセプトの医療の質の向上を、一分野に絞った取組の第一弾となります。これまでは特に分野を絞らずに取り組んでおりましたが、会員からも内容を絞った方がよいのではないかと、という意見も多く頂いておりました。

日本サッカー協会の医事委員の先生にご協力を頂きまして、システムの開設、利用方法について説明をしました。

【監修】

佐藤俊介

（栃木県サッカー協会医事委員長）

大場俊二

（日本サッカー協会評議員、大分県サッカー協会医事委員長）

寛田 司

（広島県サッカー協会医事委員長、サンフレッチ広島チーフドクター）

【スポンサー】

東芝、インテル

活動報告2013 サッカードクターネットワーク システム開発



SOCCER Dr. NETWORK
サッカードクターネットワーク

LIBRARY(情報検索・網羅)

- ・トレーニング
- ・応急処置
- ・治療方法
- ・リハビリテーション

COMMUNICATION(対話)

- ・チャット機能
- ・メッセージ(動画、写真)
- ・グループ作り
- ・音声会話



各試合会場



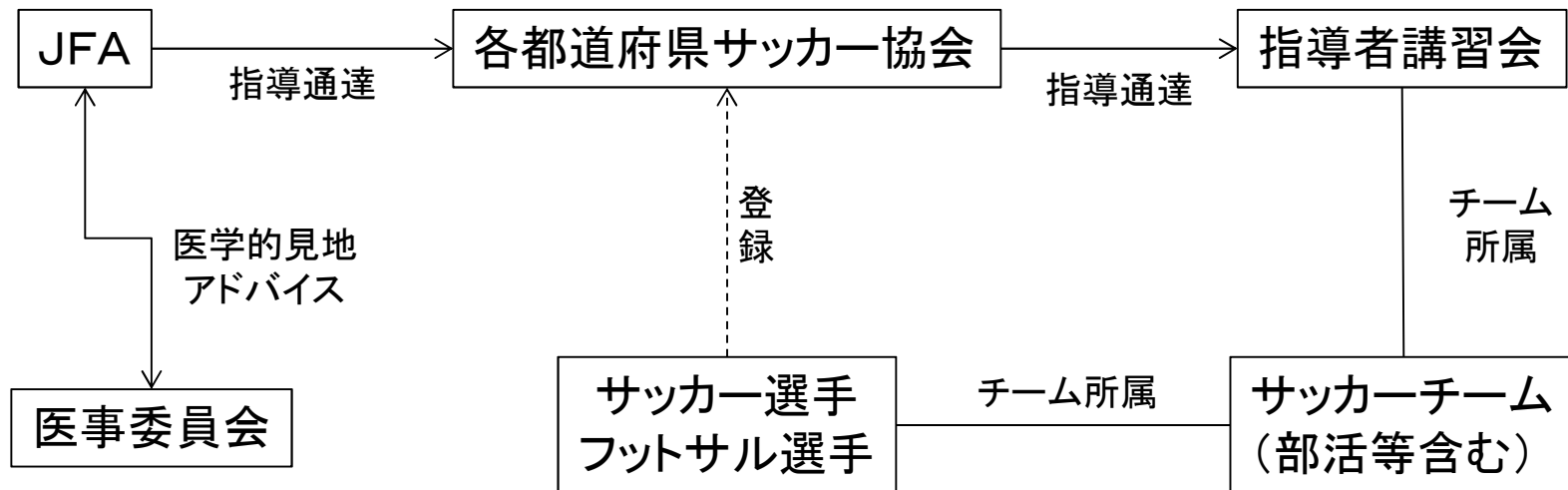
試合会場に医師がいなくても、当番医師を選定しておけば、連絡が可能。

医師も専門外であれば、そこから知人医師への相談ができる仕組みとなり、負担が軽減される。



医師や病院

活動報告2013 サッカードクターネットワークの狙い

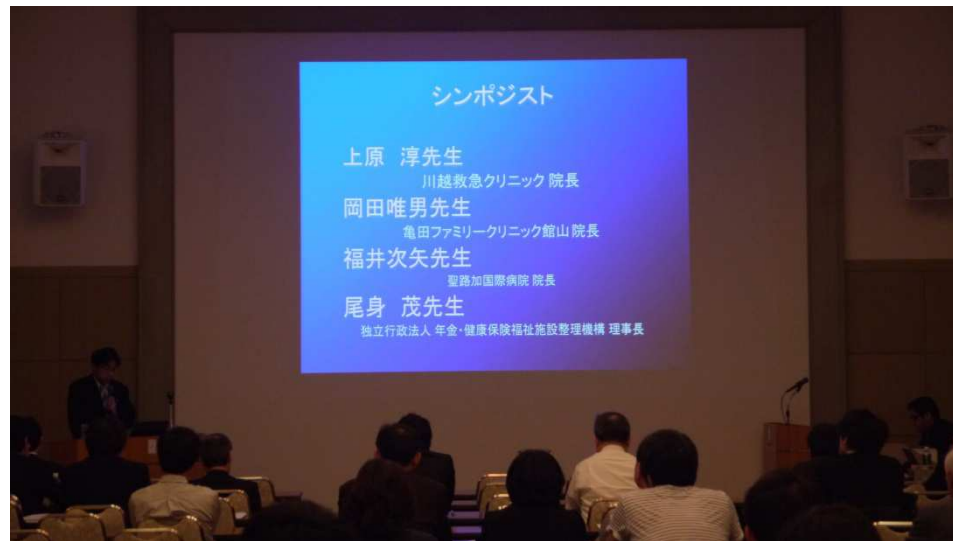


チーム数	サッカー 選手数	フットサル 選手数	監督数	指導者	審判員
<u>28,429</u>	<u>953,740</u>	<u>125,436</u>	<u>12,613</u>	<u>70,685</u>	<u>234,037</u>

2014年上半期で九州全域で「サッカードクターネットワーク」の運用試験を行います。
それを元に、日本サッカー協会医事委員会で承認を得まして、全国の指導者講習会で利用推奨をして頂く事で、日本のスポーツシーンを一新させる事を目的とします。

また今回はサッカーですが、この運用が上手く行くようであれば、他のスポーツでも横展開をしていく予定です。ヘルスケア、メディカル、スポーツ、どの分野に於いても非常にインパクトのある取組ですので、是非とも成功させたいと考えます。

活動報告2013 総合医療と医療再生 シンポジウム



11月17日(日)に四谷にて開催しました。
今回も著名な先生をシンポジストに、講演と後半は会場の参加者との討論会という構成で実施しました。

毎回ですが、シンポジスト陣がいいこともありまして討論会は白熱しまして、下記写真は栃木県で「どこでもクリニック」という無医地区へ医療を届けるという取組をしている池ノ谷紘平Drなどからも意見がありました。



懇親会では、尾身先生からシンポジウムの内容はいいから、そこからどう広めていくか、どう実現していくかが重要という指摘を頂きました。

医桜の取組にも興味を持って頂きまして、協力を頂けるそうですので、それも含めまして企画を2014年は行っていきます。

2014年も医桜は全力疾走です！



**素敵な仲間と一緒に
今年も全力投球！**

医桜 概要

組織名 N P O法人医桜
所在地 〒114-0001
東京都北区東十条4-6-4
サンマリンビルB101
TEL:03-5902-3493 (代表)
FAX:03-5902-3494

設 立 2010年6月設立
2011年9月法人化

ボランティアスタッフ (プロボノ)

医 師	8名
看護師	2名
放射線技師	3名
臨床工学士	2名
内視鏡技師	1名
超音波技師	1名
管理栄養士	1名



事業

- ・医学情報共有サイト「医桜」企画運営
- ・医師向け「臨床セミナー」企画運営
- ・コメディカル向けイベントの企画運営
- ・一般市民向け医療啓発イベントの企画運営
- ・講演活動

URL 医桜 <http://www.izakura.jp/>
(2010年6月開設)

メール 代表 info@izakura.jp